



2012年4月23日

セカンドハンド通信 NO.68

セカンドハンド 本部事務局 TEL&FAX 087-861-9928
 〒760-0055 香川県高松市観光通1-1-18
 E-mail:jimukyoku2hand@yahoo.co.jp http://2nd-hand.main.jp/



あなたの手を、世界の誰かに。

～ セカンドハンド 今年度の支援計画 ～

医療支援



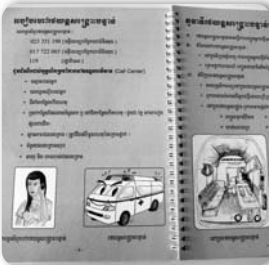
医療施設建設支援

～人々が健康で過ごせるように～
 医療施設が不足する農村部(ス
 ヴァイリエン州)に建設



救急医療支援(招聘と派遣)

～救急医療を支える人材育成～
 医師や救急隊員の来日研修、専
 門家を派遣して現地での研修を
 実施



ファーストエイド啓発活動

～自ら命を救えるように～
 医療サービスが限られる農村部
 に専門家を派遣し、応急手当の
 啓発活動を実施

孤児院支援



～子ども達に未来を～

子ども達が再び親元に戻る様
 に、また自立できる様にフォス
 ターペアレント制度で支援
 4月開始 Foster Parent 募
 集中!

教育支援



奨学金支援

～学ぶチャンスを!～
 成績優秀な生徒達が中学～大学
 に通えるように経済的にサポート



楽器寄贈支援

～音楽教育による人材育成～
 日本で集めた楽器をカンボジア
 の小学校にプレゼント

東北・被災地支援



～「動きたい」「お買い物したい」
 声に応じて～
 被災者のためのコミュニティシ
 ョップをスタート

自立支援



～女性達の自立のために～
 農村部の女性達の職業訓練、商
 品開発支援

セカンドハンドの活動を会員になって応援してください! 賛助会員(Second hand Official Supporter:SOS)募集

会費が変わりました!
 4月から新規受付中!

今年度より賛助会費の定額自動送金が簡単に出来るようになりました。お名前、ご住所を事務局までお知らせいただければ、所定の用紙を送らせていただきます。

※皆様への手数料等のご負担はありません。 ※一年一括で自動送金を希望されない方は、同封の郵便局の払込取扱票をご利用頂けます。

	月々	一年一括
個人	一口 1,000円	一口 12,000円
法人	一口 2,000円	一口 24,000円

会員特典

- ・スタディーツアー優待
- ・イベントへの優待
- ・コンサート時の優待席確保
- ・カンボジア商品の割引購入
- ・報告書などの無料送付
- ・その他



「セカンドハンド」は、ボランティアが主体となって運営する国際協力団体です。主な支援先はカンボジアで、学校建設や奨学金支援などのほか、自立・医療・孤児院支援を行っています。資金源は皆様のご寄付とチャリティーショップ(提供された品物を無報酬のボランティアスタッフが販売)。一人ひとりの力は小さくても集めれば大きな力となる」をモットーに活動しています。世界の誰かのために、あなたの力を貸してください。

商品提供やご寄付など、支援してくださった皆様へのお礼とご報告は、このニュースレターにかえさせていただきます。

東日本
被災地支援

「働きたい」「お買い物したい」声に応えて コミュニティショップ 開店に向けて準備中

キャッシュ・フォー・ワーク事業の一環で実施する、ニュースレターNo.65で紹介したコミュニティショップの構想が実現に向けて動いています。収益金が地域の復興に充てられるチャリティーショップで、雇用の創出を兼ねた事業です。失業保険も切れてきた今、被災地での働きたいという人々のニーズは高まっています。そして「皆さんにしてもらわなければならない、自分では何かしたい」とストレスを抱える方も増えています。

被害の大きかった地域では、1年前とほとんど変わらない光景が広がっています。石巻市で店舗探しをしていた際、道を間違えて入り込んだ地域には津波被害を物語る建物があたり一体に…その光景に息を呑みました。復興のスピードはあまりにもゆっくりです。その苛立ちや不安を感じながら暮らす方々のために私たちセカンドハンドができること。それが、贅沢でなくても「欲しいモノが自分で手に入られる」「小さな収入でも働ける場」コミュニティショップでした。

現在、実施に向け仙台市内で、一般社団法人パーソナルサポートセンター（市の受託で市内9,500戸とされる仮設住宅、みなし仮設住宅等

の支援を行う団体）と連携して企画を進めています。また、複数の団体と連携した、仙台市内での出前コミュニティショップ（大型バザー）を計画中です。

途上国支援に携わっていた私達は、復興には長い時間がかかることは想像していたことでした。それでも、この日本にいながらなげと思わざるを得ません。被災地のシャッターに貼ってあった「ボランティアの皆さん感謝」という貼紙、「今も支援を続けようとしてくれていることが嬉しい」と喜んでくださる被災地の方々の姿に、どんなに小さなことでも長く続けること。それが大切なことだと改めて実感させられました。

引き続き、ご支援よろしくお祈りします！



仙台市長町の仮設住宅。
200世帯もあるのに、夕方、ほとんど人を見かけなかった

キャッシュ・フォー・ワーク(泥かき事業)完了式



3月31日完了式。セカンドハンドより創設者新田が参加

東北広域震災NGOセンター（国際ボランティアセンター山形＝IVY主催）が中心となり実施してきたキャッシュ・フォー・ワーク（泥かき事業）は、3月31日をもって終了しました。臨時雇用人数114名、家屋や工場の清掃458件、朝市の開催633回、ランチの配達342回など、調整したIVYの皆さんの多大なる尽力により大きな成果を出すことができました。ご協力くださいました皆様、ありがとうございました。

カンボジアを訪問して（報告書より抜粋）※ホームページに全文掲載

建設中の医療施設で「このレンガ一つも、チャリティーショップでボランティアの方が生み出したお金や、寄付金から。そういう意味や思いをもったレンガが施設の壁になっていく」と新田さんがふと言った。目からウロコだった。そう捉えると、この施設はセカンドハンドに係わる人たちの思いが一つになった姿だ。そして、今回支援先で見たすべては、みんなの思いがそこに届いていたことの証だった。（事務局 渋谷）



AJET香川 チャリティー舞踏会

AJET香川（JETプログラム参加者の会）が開催し、セカンドハンドを通じて被災地支援に充てられます。ダンス基礎レッスンもあります！舞踏会に参加してみませんか？ 6/9（土）17:00～@サンポートホール高松（入場券：3,000円 ※セカンドハンド高松店にて購入できます）

問合せ：ajet.kagawa@gmail.com、Facebookで“Kagawa AJET”

14年ぶりの再開

医療施設完成



旧施設の完成を待っていよいよ再開

昨年12月に着工したポエントム地区の医療施設が、今年1月末に完成しました。周辺に医療施設がなく、10キロ離れた医療施設

にたどりつく前に亡くなることもありました。「施設が出来れば、医者やスタッフ、運営費は確保できる。何とか支援してもらえないか」とプノンペン市

西部保健局長から依頼を受けました。ここには、14年前の州編成をきっかけに政府からの資金が途絶え、閉鎖されていた古い医療施設がありました。亀裂、室内には蟻塚… 修繕は難しそうに見えましたが、セカンドハンドの新施設建設支援が契機となり、保健省が3,000ドルの資金を出して旧施設を改装することになりました。

新施設では分娩・入院、旧施設では受付、診療、薬局の機能ができます。両棟の完成は5月。次号では、施設のオープンをお知らせします。

人々の命を守る

ファーストエイド啓発活動

「緊急時に於いて、患者に一番近い人（一般人）が救命できるかどうかを左右する鍵を持つ」とある医師が語っていました。ところが、カンボジアの農村部では、未だ多く実行されていることですが、切り傷には魚醤やガソリンをかける、火傷には歯磨き粉を塗る、溺れた場合には下から火で炙るという処置が信じられています。適切な応急処置さえすれば、死亡や重症化を防げる事例が多くあります。

そこで、NPO法人TICO（徳島）と連携し、今年9月にスヴァイリエン州でファーストエイド（応急処置）のワークショップを開催します。ケガをした場合、のどが詰まった時など、場面ごとにイラストを交えて処置法を紹介した冊子を2,000部印刷し、1家庭に1冊配布。セカンドハンドが建設

支援した医療施設や学校などを会場とし、TICOから派遣される医師が実技と質疑応答を交えた説明をします。

州の保健局で当事業について説明した際、「医療施設や救急車が不足しているため、市民の応急処置や保健への認識が命を守ることにつながる。とても重要。ぜひお願いしたい」と喜ばれました。

※本事業は、日本国際協力システムからの助成事業として、助成を受けて実施します。



応急処置のワークショップ風景（TICO提供）

カンボジアを訪問して（抜粋）

センソックでは、支援に対して感謝の気持ちを何度も言ってくれた。後に、4人の生徒の家を訪問する事になり愕然とした。想像していた以上に貧しい生活を強いられていたからだ。両親が出稼ぎに出ていて、一人で豚を育てたお金で生活している子、大量のごみが浮かぶ水の上の家に住む子。大変さよりも、勉強できる喜びや幸せを感じている様子だった。支援し、見守ってくれる人たちの想いに応えたいという気持ちを感じた。

セカンドハンドの支援は、お金に困っている人にただ資金的な支援をするのではなく、支援をする側、受ける側の気持ちや存在を繋ぐ事で、お互いに成長したり、影響を受け合う事を可能にしているのだと感じた。その間に立つ事務局の一員として何をしないといけないのか、何ができるのかを常に考えていきたいと思った。

※今年1月に事務局に入りました。

これからもよろしくお願いします！

（事務局 河野奈月）



ホームランド孤児院にて。子ども達一人一人を見守る母的存在のスタッフの重要性を感じた（写真左が河野）

☑ 私は「支援」とは「してあげる」のではなく、「助け合う」ことなのだと思います。私もできることをたくさんして、少しでも多くの人が幸せになるといいなと思いました。（勝賀中学1年 講演感想文より）



シェーンさん

ITの専門家。セカンドハンドの物資輸送時に、現地入りしての調査、広報や寄付金募集で協力

震災が起きて状況の分析に3日かかった。自分に何ができるか考え、まず日赤に寄付、次に高松市を通して食料品を送った。その後、知人から聞いたセカンドハンドに足を運び話を聞いた。

送り先は適切な場所か、相手が信頼でき物資を活かせるか等を確認しているところを見て、その注意深さに驚き、また大変信頼できる団体だと思った。ネットワークがあるから、スピーディーに状況を知ることができる。また、小さな団体だからこそ大変迅速で、判断も早かったと感じた。

キャッシュ・フォー・ワーク (CFW) に支援をシフトしたことも絶賛したい。ただお金をあげる支援では様々な問題が起きている。CFWは地域の再建に自ら参加できる仕組み。小さな範囲にしか影響しないかもしれないが、本当に重要で大事なこと。

今からできることは、次に起こる災害に対し、迅速かつ効率的に動く準備。自分はそのためにテクノロジーを使って貢献したい。現在、緊急時に素早い現状把握を可能にする、低価格の小型センサーやヘリコプターの開発をしている。誰でも使えるものを作りたい。セカンドハンドの活動を通してそう思うようになった。将来、日本人として生まれてくる自分の子どもにとっても、より安全で、より良い社会になっていく様に頑張りたい。それがモチベーションになっている。



林田物流 塩田社長

約10年前から店舗や倉庫の引越しで運送協力をいただいている運送会社。被災地にも3度に渡り無償で輸送協力。

お客さんから要請があれば、できる限りの協力をするのですが、日頃の社会に対する恩返し、務めであり、震災の時は「何でも運びますよ」とこちらから言ったわけではなく、依頼があったから車を出したという、当たり前のことをしたまで。「なぜ無償で?」…そりゃあ、ボランティアでやってお金もらたら、その意義が損なわれる。どうせするなら徹底的にした方がいい。ただそれだけ。それを社員も理解してくれているのは有難い。

私は付き合いええだけや。所詮世の中は人とのつながり。人との関係を大事にしていけば、人がいい状態にしてくれる。人とながつながってたら世界が広がるやろ。自分で世界を小さくする必要はない。

3月11日、筆者らはカンボジアで東日本の震災を知りました。15日までに帰国し、16日に輸送先を確定後、すぐに物資募集の準備に掛かりました。

初日の朝から鳴り止まない問合せ電話、止まることのない物資提供、すぐに店の表の道路まで物資でいっぱいになりました。限られた人数で始めたものの、日に日にボランティアも増え、様々な人がつながっていきました。

その時、関わった方々のインタビューを通し、セカンドハンドが担った役割を探ってみました。



様々な人や組織とつながり活動してきた歴史があり、小さな市民団体だったからこそできたとも感じますし、設立から徹底してきた「ニーズが確認でき」「支援がきちんと届けられ」「皆様に報告する」ことを大事にしてきたからこそ今のセカンドハンドが感じました。

「人々の思いを形にする」市民団体は増えています。政府も市民活動強化のため、税制など支援体制を整えようとしています。今後、市民団体の存在意義はさらに高まることでしょう。

これからも、いざという時に手を差し伸べられる団体であれるように。そして、いざという時に采配をふる人材を育てていきたいと考えています。引き続き、ご支援、ご協力よろしくお願い致します。

伊藤さん

震災の物資募集を契機に関わり、昨年9月からカンボジア商品を扱う(有)ARTISANのスタッフ



商店街のお店の存在は知っていたが、活動を詳しく知らなかったし、ボランティアは政府がするものだと思っていた。震災をテレビで知り、自分にできることを県庁のHPなどで検索したが、個人の物資はどこも受け付けていなかった。その後、新聞でセカンドハンドの物資受付を知り、布団などを持参。眼鏡店をしていたので老眼鏡をたくさん提供した。避難所の方々に大変喜ばれたことを知った時は、自分がしたことが活かされ、嬉しかった。

最初は「ボランティアしたい」と言えず、2度目の物資提供時から仕分けに参加。それから、お店番、バザー等、週1回くらいに関わるように。ここではレジでも、広告の裏紙で作った手書きの売上表に記入しており、今の時代に斬新で、価値観が多様化される。アナログで完璧じゃないところ、そこにぶれない志が一本通っているギャップが魅力(笑)そこにゆっくりな方、スピーディーな方、車椅子の方、学生、ご年配、色んな方が関われることも素晴らしいと思う。

嶋崎さん

セカンドハンド設立当初から約18年間ボランティアとして携わり、震災時にも仕分けで参加



去年の今頃はテレビに同じ場面がずーっと流れ、ただ見てるのが辛く、一人では何もできないが、何かしないと…と感じていた。セカンドハンドがあって良かった。

被災地支援では、長年の経験が生かされた。仕分け、定位置にラベルを貼るなど身についていたこと。バラバラな商品が入っていても現地で仕分けもできないし、大変だからね。事務局スタッフも本当に大変だったと思う。日頃から欲しいモノがない中で、どうやって運営していくか工夫してるから応用力がついている。幅広い業務や日々の調整作業をこなすことで育った人材がいたから緊急の事態でもすぐに支援ができた。

セカンドハンドは支援の成果が見えるから安心。カンボジアで校舎を見た時は本当に感動した。私が売っている20円の鉛筆1本も小学校の一部になっていると思って。なんでこんな思いをしてまで…と思うこともあったけど、あの感動が今の原動力になっている。「日本でも困っている人は居るのに、なんでカンボジア?」って聞かれる事もあった。でも、たまたまカンボジアだったんだよね。出来る事を(同じ事を)し続けてきたから、こんなに長く続けられているのかも。



ひろがるセカンドハンドの輪



香川経済同友会×セカンドハンド 第3回被災地支援バザー@JR高松駅

昨年の7月、9月に続き、昨年度最終の連携バザーをJR高松駅で3月29日から3日間行いました。このバザーは、香川経済同友会から「品物を用意するので支援金を募るバザーを共催できないか」とお話をいただいたのがきっかけ。得意分野で力を合わせた事業でした。同友会の関係各社が売る品を自社製品や社員からも集めてくださり、当日も手伝いやお買い物でも協力。同友会事務局も企画から運営まで尽力し、支えて下さいました。3回分の合計金額は、120万円。成果も然る事ながら、連携できたことに感謝！売上は全てキャッシュ・フォー・ワーク事業に充てます。ご協力くださいました皆様に心よりお礼申し上げます。



被災地支援バザー、お買い物客からも大変喜ばれました

塩江中学校の取り組み ～1円募金～

1円でも募金ができるという趣旨で実施している恒例の一円玉募金。昨年度も22,602円のご寄付をいただきました。生徒会が全校生徒に呼びかけ、月に2回、登校時間に下駄箱付近などに立ち募金をしています。“世界で困っている子ども達のために”集められた皆さんの気持ちをカンボジアに届けます。ありがとうございます。

☆チャレンジ→社会貢献 新しい寄付の方法☆

「自分が何かをチャレンジすることで、それを応援する人が寄付をしてくれるサイト」、Just Giving Japanをご存知ですか？このサイトを利用し、ある支援者が仮装でハーフマラソンに挑戦しました。募ったお金の寄付先はセカンドハンド。皆さんも「自分のチャレンジ→社会貢献」に繋がってみませんか？詳しくは <http://justgiving.jp/> をチェック！

■このコーナーのグッズはメール、FAXでお申し込み頂けます。
E-mail : jimukyoku2hand@yahoo.co.jp
FAX : 087-861-9928



カンボジア商品 販売協力店 ホンダカーズ香川 屋島店

店頭の一部で常設販売をはじめて4年目！2月からは、毎月開催の週末バザーに不定期で出店しています。明るく素敵なショールームで、どなたでも購入できますので是非お立ちください。
※バザーの出店日時はセカンドハンドHP等でご案内します



週末バザーに出店！

GOOD
GOODS

カンボジア支援につながる フェアトレード商品

～首周りにお洒落スカーフ～
コットンとシルクの混合素材。
ブロック柄が素敵☆☆☆
コーディネートの仕上げアイテムとして大活躍間違いナシ！！

¥3,800

(商品番号A1202-3)

色 : 白、緑、ピンク、赤

サイズ:縦60cm×横180cm



＜郵送での商品をご希望の場合＞

●下記の郵便振替口座に「カンボジア商品希望」と明記し、住所、氏名、希望商品、商品番号をご記入の上、商品代金に500円を加えてご入金ください。

※合計1万円以上お買い上げの場合、送料無料

【郵便振替口座】 ※同封の用紙がご利用いただけます。

口座番号:01620-6-60029 加入者名:公益社団法人 セカンドハンド

SPECIAL THANKS 〈敬称略〉

12/12～4/16までの3ヵ月間にご寄付などで協力くださった方々です。ここに掲載しきれない、その他に様々な形で協力くださった皆様もありがとうございます。【店舗・倉庫】株式会社マルナカ(丸亀店)、西川(福岡店)、(株)セシール(春日町)【出店協力】4町パティオ広場運営委員会【ニュースレター発送】後藤家、高倉恒三、その他たくさんの方々【寄付】香川/今井里美、今雪真善、入江治子、エラリー ジャンクリストフ、加藤博子、木村昭義、KINGS YAWD、倉岡奨学会、梶保保世、小竹由美子、杉原章哲、高松工芸高校インターアクト部、高松市塩江中学校生徒会、田辺恵子、依恵美、塚田泰代、鳥かい齒科医院、長田桂子、新田美千子、沼田章、のぞみ総合法律事務所、平野祐一、袋田芳子、古高松南小学校、前田直俊、松原志乃、馬淵和哉、三原主幹、三宅洋三、宮本宏子、横田春春、吉川正美、依田健志、大阪/黒田貞子、徳芳郎、宮地菜穂子、岡山/田中里栄、沖縄/江本洋子、神奈川/小林隆、中村孝夫、長山喜代子、弓削田裕子、埼玉/河原崎晴美、千葉/谷和晃、東京/(株)アイティエスエス、饗場進、池田奈緒子、KDDI(株)、小岸弘和、チャリティ・プラットフォーム、堀井健一、森川幸恵、徳島/宮本有加利、山田隆子、渡部豪、富山/荻浦いく弥、奈良/瀬崎ひとみ、日高晶子、福岡/後藤富子、西田由美子、秀玲子、福岡聖パウロ教会、北海道/Earth Cover、カフェ・インフォーマル、若林英樹、宮城県/和田憲久、山口県/YUCCA、海外/CAF America、Carol Scovil、Haruka Hoskins、JAPAN AMERICA SOCIETY OF INDIANA【その他】香川マツダ、コスモ商事(株)、佐川急便(株)、損保ジャパン高松支店、天勝(丸亀)、nico café、林田物流(株)、ブルワン Honda Cars 香川屋島店【ニュースレター作成】(株)アイコー印刷

☑ 学校の建設も進んで良かったですね。少しですが、カンパします。大震災、原発から、一日も早く復興出来ますように。
(高松市 宮本様)

セカンドハンド丸亀店

今月4/29はマルナカ・パワーシティ丸亀店内にオープンして1年になる開店記念日です。丸亀店はすばらしいボランティアさんに恵まれ、ゆっくりですが、着実に和と輪が広がっている様に実感します。さらに輪から環に広がっていけるお店になれるよう頑張ります。

皆様への感謝の気持ちを込めて

セカンドハンド丸亀店 1周年記念トークショー
日時：4/29（日）13時～14時（14時～懇親会）
*同時に4/29（日）～5/5（土）の期間、500円
お買い上げ毎のスタンプカードが2倍押し！！

セカンドハンド・ユース

2012年12/1 国際協カステージ開催決定！

応援してくださっている皆様、お待たせしました。素晴らしいイベントになるよう頑張りますので、ご期待ください！

【今後のイベント】

4/22 ASIAN DAY@アイパル香川
フェアトレードカフェ出店

4/29 サンサン祭@サンポート高松
チャリティーバザー出店



昨年12月、初出店高松冬の祭りにてポトフ完売！

セカンドハンド北海道

長い間、活動の中心的な役割を果たしてきた大波さんが、関東へ引っ越されました。今後どこまで活動できるかわかりませんが、皆で力を合わせて活動を継続していきます。具体的には決まっていますが、参加できるイベントには積極的に参加していきたいと考えています。新・セカンドハンド北海道をよろしく願います！

セカンドハンド福岡店

前号で希望していた若いスタッフの参加。その願いが叶ってタイ人の清水エドさんが福岡店に来てくれました。エドさん手作りのタイ料理や和食、スタッフ持寄りの料理でお昼は楽しいひとときとなっています。新しいスタッフが入り、ますます楽しい福岡店にぜひ一度お立寄ください。



お料理上手な清水エドさんです！

関東ユース

昨年12月、創設者の新田恭子さんを招いて講演会（カンボジア支援や東日本大震災被災地支援の現状について）を開き、多くの人にご参加いただきました。現在は衣類を集めフリーマーケット出店を計画中！インターネットオークションで中古品の販売にもチャレンジする予定です。

第2弾!!

『どんな人達がボランティアしているの～？』 ～運搬スタッフ編～

活動を最前線で支えるボランティアスタッフ。セカンドハンドでは小学生から80歳を超える方が、それぞれでできることで活動しています。様々な場所で活躍するスタッフのインタビューをご紹介します。



古場達朗くん

（香川大学4回生。関わって半年、週に1回の運搬、バザーの搬入、搬出等、体育会系で荷物を軽々持ち上げる頼もしい存在）

裏方の地道な作業ですが、体を使うので充実感を得られます。運搬メンバーは人生経験豊富な人達ばかり。彼らの本物のボランティア精神には脱帽です。彼らと時間を共有することで自分自身の成長にもつながっている気がします。



嶋崎隆一郎さん

（奥様[P4右下で紹介]が多忙で関われない為「代わりに主人を」と連れてこられたのがきっかけ。ダンディで癒しのスマイルの持ち主）

退職して時間もあるので、少しでも世の中のためになればと続けています。関わり方が色々あるのが良く、自分も空いた時間に負担にならないように関わっています。今ではカンボジアの情報に関心をもつようにもなりました。私たちの世代はエネルギーがあります。リタイアして時間がある方、ぜひ運搬で力を活かしてください！

☒ いつも素晴らしい団体だと感じています。東京にも支部があれば...と残念です。（東京都 匿名希望の方）
→皆様のお陰です！東京でも講演会等開催してますので、ご希望の方は、連絡先をいただければメール等でご案内させていただきます。

提供品受付

夏物:5月中旬～

食器、日用品等季節のないものは常時OK。

【送り先】〒761-0101 高松市春日町1586-1
セシル春日物流センター内 セカンドハンド
(※平日必着、持込は受け付け不可)

【持込先】セカンドハンド高松店

集めています！

- ・A4サイズ裏紙
ミスコピー等、捨ててしまう紙があればご提供ください。
- ・長形4号・3号の封筒
ニュースレターの発送に使用する封筒を集めています。
会社名などが入っていても結構です。
- ・未使用切手、使用済み切手

セカンドハンド総会& チャリティーパーティー

5月27日は
18周年

総会は、昨年度の決算と事業報告の承認をいただく場です。議決権は会員のみですが、どなたでも参加し、活動の全容を知ることができます。総会後は、同会場でチャリティーパーティーを開催します。

【日 時】5/27(日)13:30～ 総会、15:00～ パーティー

【場 所】ぴかでり屋 高松市福田町

【参加費】総会／無料(総会資料が必要な方は資料代)

パーティー／1,000円(飲食代)、申し込み締め切り5/21

ボランティアスタッフ募集中！

お店番、倉庫作業、運搬、どこも人手が不足しています。
週1回～月2回などそれぞれのペースで参加できます。活動に参加してみませんか？

セカンドハンドイベント&ボランティア情報

日 程	内 容	場 所 (記載なし→高松市)
4月28日(土)・29日(日)	なかまの里ふれあい広場TOMO開所セレモニー	なかまの里福祉会
4月29日(日)～5月5日(土)	スタンプカード2倍押し期間！	セカンドハンド丸亀店
4月29日(日)	セカンドハンド丸亀店 1周年記念トークショー	セカンドハンド丸亀店
5月3日(木)・4日(金)	丸亀お城まつり ※4/30テント設営、5/5テント撤収	丸亀城内
5月13日(日)	梶田バレエ団	静岡市内
5月14日(月)～23日(水)	ザ★チャリティーレトロフェア ～おもひで商店「セカンドハンド」～ ※5/13搬入、5/24撤収	セカンドハンド片原町店
5月27日(日)	セカンドハンド総会&チャリティーパーティー	ぴかでり屋 高松市福田町
7月12日(木)～16日(月)	復興応援！チャリティーバザー	仙台市七郷市民センター
7月21日(土)・22日(日)	ニュースレター発送作業	セカンドハンド本部

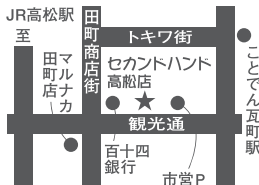
月々の会計報告書はセカンドハンド店頭に掲示しています。

高松店

■セカンドハンド本部(3F)

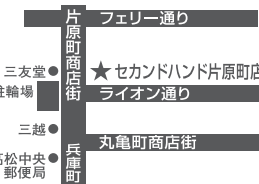
■高松店(1F)

〒760-0055
高松市観光通1-1-18
TEL:087-861-9928
営業時間:
月～金 10時～16時
土 11時～15時
日・祝日 定休日



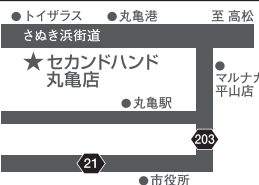
片原町店

〒760-0040
高松市片原町9-1
TEL:087-822-3552
営業時間:
月～金 10時～18時
土・日・祝日 10時～17時



丸亀店

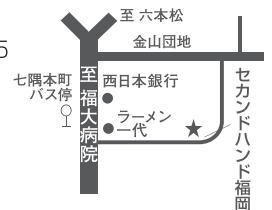
〒763-0063
丸亀市新浜町1-803-2
マルナカバウシティ丸亀店内
TEL:0877-25-2876
営業時間:
全日 9時30分～19時



セカンドハンドのネットワーク

■セカンドハンド福岡

〒814-0131
福岡市城南区松山2-7-15
TEL&FAX:
092-871-5760
営業時間:
月 11:00～15:00



■セカンドハンド大阪

徳 090-6241-3768
(E-mail) tokuyo@d1.dion.ne.jp

■セカンドハンド北海道

福田 TEL&FAX:014-473-8254
(Email) akihiro.f77@gmail.com
ブログ: <http://2handhokkaido.jugem.jp/>

● ボランティア募集 ●

お店番、仕分け作業、事務、イベント運営、チャリティーショップやセカンドハンドの運営を支えてください。

☆このニュースレターは3か月に一度5500部発行しています。封筒作り、発送作業等をボランティアで行い、約4800部を全国の支援者へ無料で発送しています。
購読ご希望の方は、ハガキ、FAX、メールなどでお申し込みください。